

## 令和6年度 第1回久留米市総合計画審議会（要旨）

### 1 開催日時

令和6年9月19日(水)18時30分～20時30分

### 2 会場

久留米市役所4階 401会議室

### 3 出席委員（順不同）

委員29名

堺太一郎委員、山崎ケブン委員、石井秀夫委員、山下尚委員、江頭理江委員、  
笠智宣委員（穴見英三委員代理）、檜橋裕章委員、永松千枝委員、佐田典子委員、  
柴本喜久男委員、西村英治委員、堀田富子委員、森山秀子委員、大治太郎委員、  
片岡靖子委員、矢野彰委員、樋口孝司委員、荒井功委員、小田まり子委員、井手悠一郎委員、  
酒井道宏委員、石丸修平委員、首藤有一委員、矢次恵美子委員、吉中美保子委員、  
永井洋子委員、翁昌史委員、佐藤有里子委員、福田桂子委員

### 4 欠席者

委員2名

元石征吾委員、堀江桃子委員

### 【議事次第】

#### 1 開会

#### 2 市長挨拶

#### 3 委員紹介

#### 4 会長及び副会長の選出

#### 5 諮問

#### 6 報告事項

(1) 久留米市次期総合計画の策定にあたっての基本方針について

(2) 久留米市次期総合計画基礎調査について

(3) 計画策定における市民意見聴取状況について

#### 7 その他

#### 8 閉会

## 【配付資料】

- ・久留米市総合計画審議会委員名簿・・・資料①
- ・久留米市次期総合計画策定の基本方針・・・資料②
- ・久留米市次期総合計画基礎調査について(説明版)・・・資料③
- ・久留米市次期総合計画基礎調査報告書・・・資料④
- ・計画策定過程における市民意見聴取状況について・・・資料⑤
- ・計画策定スケジュール・・・資料⑥
- ・久留米市新総合計画基本構想・・・参考資料⑦
- ・久留米市新総合計画第4次基本計画・・・参考資料⑧
- ・第1回久留米市総合計画審議会座席表・・・参考資料⑨
- ・久留米市総合計画審議会傍聴要領・・・参考資料⑩
- ・久留米市総合計画審議会規則・・・参考資料⑪

## 【議事録要旨】

### 1 開会

- 事務局より、過半数の委員が出席していることにより、会議が成立していることを報告  
情報公開条例に基づく傍聴、議事録の公開について承認される
- 事務局より、傍聴希望者について報告  
傍聴希望者なし

### 2 市長挨拶

- 市長代理（橋本副市長）より挨拶

### 3 委員紹介

- 事務局より、資料①委員名簿をもって紹介とし、最後に全員挨拶をいただく旨説明  
委嘱状は机上交付とさせていただく旨説明

### 4 会長及び副会長の選出

- 委員の互選により、会長に荒井功委員を、副会長に永松千枝委員を選出
- 荒井功会長挨拶
- 永松千枝副会長挨拶

### 5 諮問

- 橋本副市長より、荒井功会長に諮問

## 6 報告事項

(1) 久留米市次期総合計画の策定にあたっての基本方針について

■事務局より、「久留米市次期総合計画の策定にあたっての基本方針」について資料②を用いて説明

(2) 久留米市次期総合計画基礎調査について

■事務局より、「久留米市次期総合計画基礎調査」について資料③を用いて説明

≪質疑・応答≫

○石井秀夫委員

データによって最新値の年度に違いがあるのはなぜか。

■事務局

様々な調査結果をもとに整理しており、調査の頻度に違いがあるため、公表されている最新のデータを反映しているところ。

○石井秀夫委員

今年9月1日時点の人口は300,327人で、この状況で減少すればR7には30万人を割り込むと思われるが、推計値が間違っているのではないか。

■事務局

本調査は令和5年度に実施しており、その時点の国立社会保障・人口問題研究所などのデータを参考に推計しているためこの数字となっている。時点が変われば数字は変わる。

○堀田富子委員

人口の整理分析のところで、東京圏への転出超過の大半を10代以降から20代の若者が極めて多いと記載されているところに、特に女性が多い旨を入れていただきたい。

■事務局

今回は調査結果のため、そのような形になっているが、頂いたご意見のような視点も重要と考えており、策定にあたってはそういった視点等踏まえて策定したいと考えている。

○檜橋裕章委員

久留米市の認知症高齢者の推移のところで、括弧書きで認知症有病率を「2012年以降一定と仮定した場合」と記載があるが、この高齢化社会で介護保険も増えている中で、なぜ12年前の数字を使うのかお聞きしたい。

■事務局

令和5年度の調査時に公表されている数字がそのようになっている。今後最新のデータ等の分析をしながら策定を進めたいと考えており、最新データが確認されたらその際は報告できればと考えている。

○大治太郎委員

第7章で人口減少社会下におけるとあるが、熊本のTSMCのように企業の進出で状況が大きく変わることもある。ここで重要なことは、人口減少をいかに食い止めるかという視点で捉え、どんな戦略性を持ってやるのかということを考えることではないかと思う。そういっ

た視点を検討課題に盛り込んでいただきたい。

■事務局

確かにそういった状況もあるが、特殊な事例だと認識している。ここでは調査結果をもとに人口減少を緩和するという視点での課題と、人口減少が進む中での課題という2つの視点で整理をしているが、これから策定を進める中で皆様からご意見をいただき検討していきたいと考えている。

○堺太一郎委員

この基礎調査はどういったテーマで委託したのかという前提の部分を教えていただきたい。

■事務局

大前提としては、今後人口減少の影響が全国の自治体にとって大きな課題となるという認識のもとに、目次の「構成」にある章立ての形で分析するといった内容で委託している。

(3) 計画策定過程における市民意見聴取状況について

■事務局より、「計画策定過程における市民意見聴取状況」について資料⑤を用いて説明  
《質疑・応答》

○堀田富子委員

超高齢社会の進行に歯止めをかけなければいけないと思うが、アンケートの回答率から見ると高齢者の意見が非常に少なく反映されていないのではないかなと思うが、今後高齢者の意見も拾うような取組はあるか。

■事務局

くるモニや現在実施している第2弾アンケートでは、年代のバランスを考慮し無作為に抽出した方に送付しており、高齢者のご意見も反映されると考えている。更に市民ワークショップにもご参加いただきご意見を伺えたらと考えている。

○石井秀夫委員

質問ではなく意見だが、とても良くできていて感心して見させていただいた。特に表紙に載っているロゴマークも私はとても良いと思っている。それから、小・中学校や高校に出向いて子どもの意見を聞いておられるということなので、出来るだけ多くの意見や提案を聞いていただきたい。

## 7 その他

■各委員より一言ずつ挨拶

■事務局より

①次回は11月26日(火)15時30分から開催したい。後日あらためて連絡する。

②本日の会議議事録は、事務局で作成し、委員に確認した上で公開したい。

## 8 閉会